



抜粋サンプル

遺伝子組換え作物に関する スライド資料



バイテック情報普及会

COUNCIL FOR BIOTECHNOLOGY INFORMATION JAPAN

遺伝子組換え技術は、暮らしに役立つ可能性を育てています。

本資料のご利用について

抜粋サンプル

- 授業、セミナー、講演会等の講義資料としてご活用ください。
- スライドを使用される際は、バイテク情報普及会と各スライドの出典を明記してください。
- スライド内の写真や図を切り取ってご利用になる場合も、必ず出典をご記載ください。
- 加工される場合は、情報の正確性が損なわれないよう、ご自身の責任において行っていただくようお願いいたします。
- 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づき正確かつ最新の情報をご提供できるよう努力しておりますが、情報の正確性や完全性について、バイテク情報普及会が保証を行うものではありません。
- 本ツールを利用して生じる不利益について、バイテク情報普及会では一切の責任を負いかねます。
- 著書などへの転用・転載はお控えください。

本資料の内容に対するご意見、お問い合わせは、バイテク情報普及会まで

<https://cbijapan.com/>

抜粋サンプル

目次

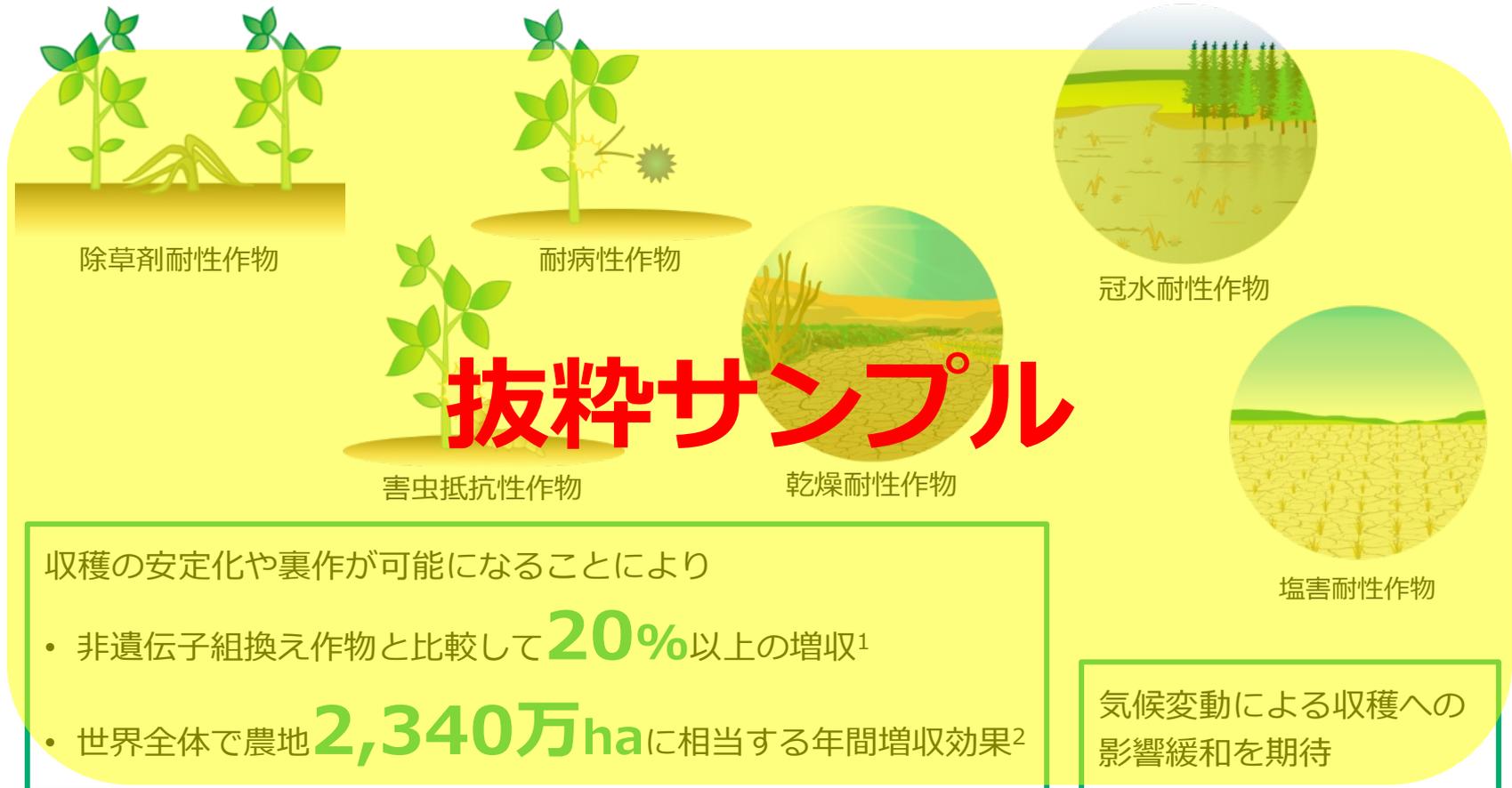
I. 意義	4	IV. 利用	
農業に関わる今後の世界的課題	5	世界での利用状況	30
遺伝子組換え作物の貢献と可能性	6	日本での利用状況	33
II. 技術	11	安全性を示すエビデンス	35
バイオテクノロジーの基礎	12	安全性を再確認した欧州の3プロジェクト	36
野生種と栽培種	13	否定されている動物への発がん性	37
農業と育種の歴史	14	V. 制度	38
主な従来育種技術	15	国際的な規制の枠組み	39
従来育種と遺伝子組換えによる育種の違い	17	遺伝子組換え生物の定義	40
遺伝子組換え作物の作出方法	18	日本の制度	41
新しい育種技術	20	生物多様性影響評価	43
III. 実例	21	食品としての安全性評価	46
遺伝子組換え作物の開発から実用化まで	22	飼料としての安全性評価	48
除草剤耐性作物	23	表示	49
害虫抵抗性作物	24	海外の制度	51
耐病性作物	25	VI. 受容	55
乾燥耐性作物	26	バイオテック情報普及会による消費者意識調査	56
その他の遺伝子組換え作物	27	内閣府食品安全委員会調査	60
開発中の遺伝子組換え作物	28		

遺伝子組換え作物の貢献と可能性 (1)

食料の安定供給

これまでに栽培されている遺伝子組換え作物の貢献

開発中の遺伝子組換え作物

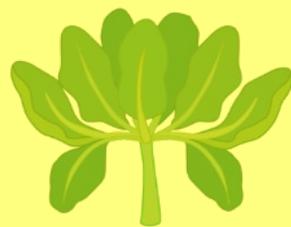


1. Klümper and Qaim (2014) A Meta-Analysis of the Impacts of Genetically Modified Crops. PLoS ONE 9(11).
2. Graham Brookes (2022) Farm income and production impacts from the use of genetically modified (GM) crop technology 1996-2020 DOI:10.1080/21645698.2022.2105626

野生種と栽培種

私たちが食べている農作物は、昔からそのような見た目や味であったわけではありません

野生種は、厳しい自然環境の中で生存していくために、発育の時期が不揃いであったり、種子が厚い種皮やとげで覆われていたり、有害成分を含んでいたりします。人間は、野生種を選抜して農耕を始めて以来、長い年月をかけて品種改良を重ね、人間に都合の良い栽培種を作り出してきました。



キャベツの原種



ケール



コールラビ



キャベツ

抜粋サンプル



カリフラワー



ブロッコリー



芽キャベツ



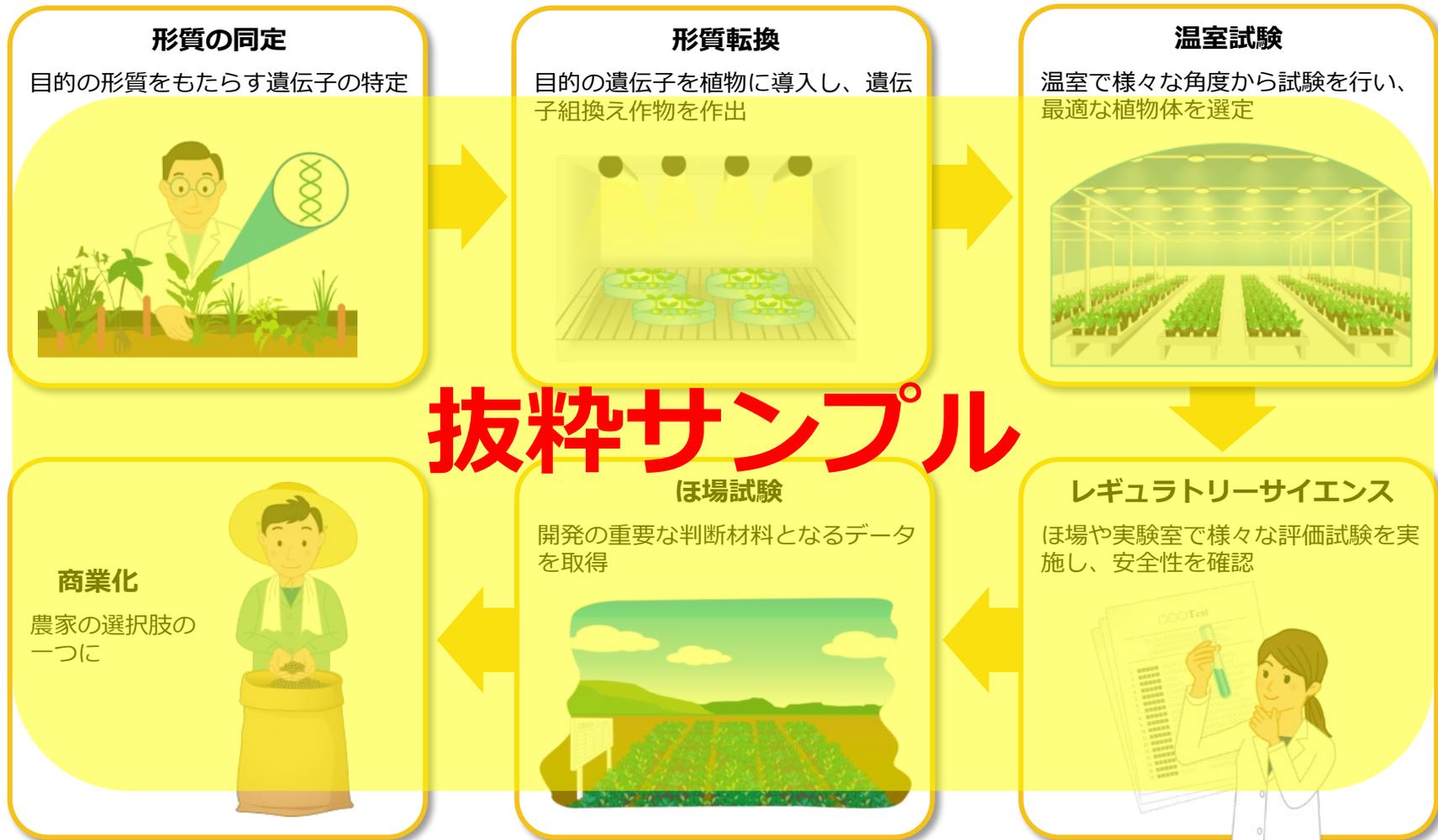
テオシント
(トウモロコシの原種)



トウモロコシ

遺伝子組換え作物の開発から実用化まで

研究開発から実用化まで、平均して16.5年の歳月と1億1,500万ドルの費用が必要です¹。

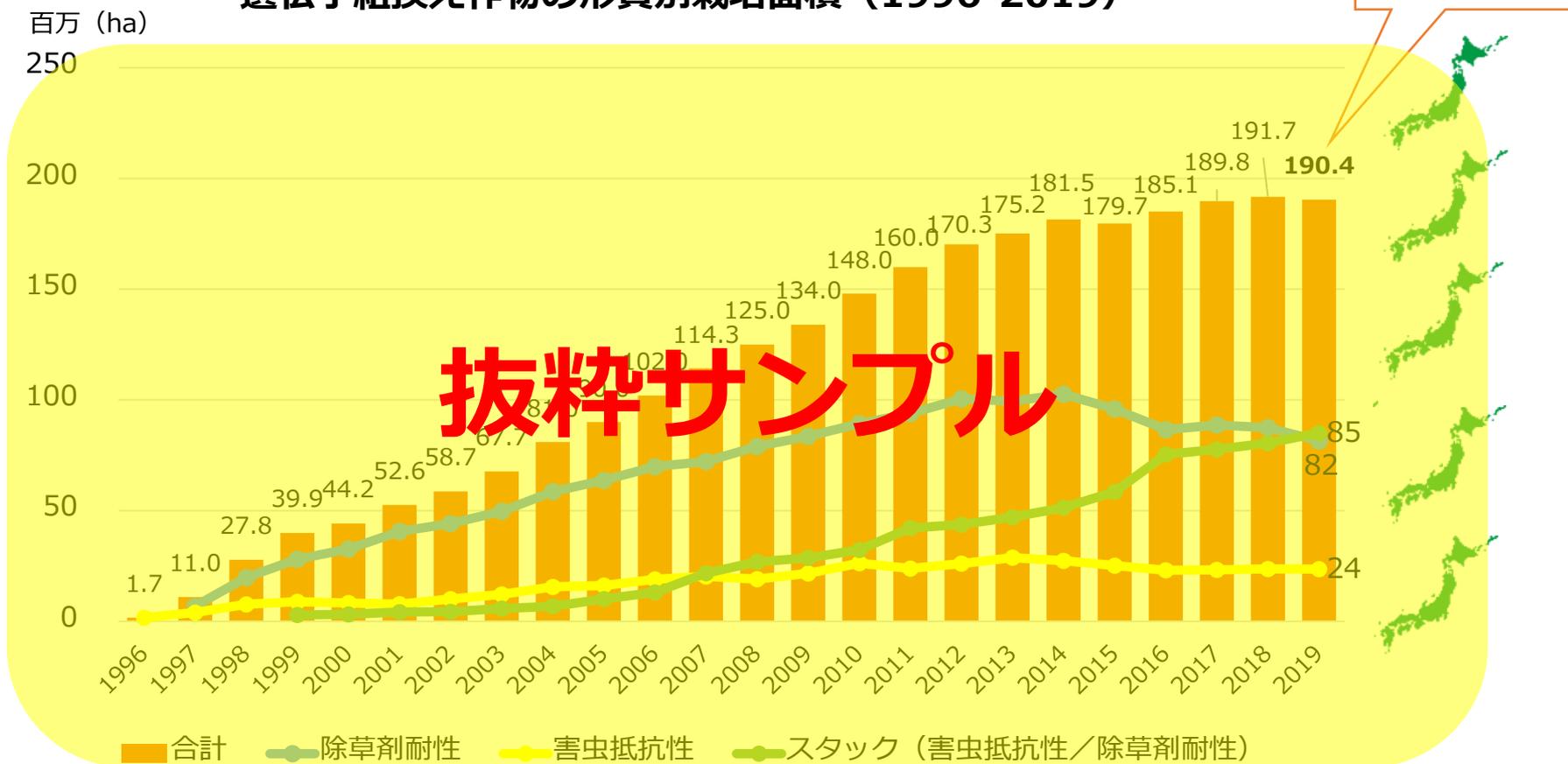


1. AgbioInvestor /CropLife International, 2022. [Time and Cost to Develop a New GM Trait](https://cbijapan.com/wp-content/uploads/2018/01/Lifecycle-of-a-GMO-Infographic_JPN.pdf)
参考 https://cbijapan.com/wp-content/uploads/2018/01/Lifecycle-of-a-GMO-Infographic_JPN.pdf

世界での利用状況 (1)

遺伝子組換え作物の形質別栽培状況 (2019)

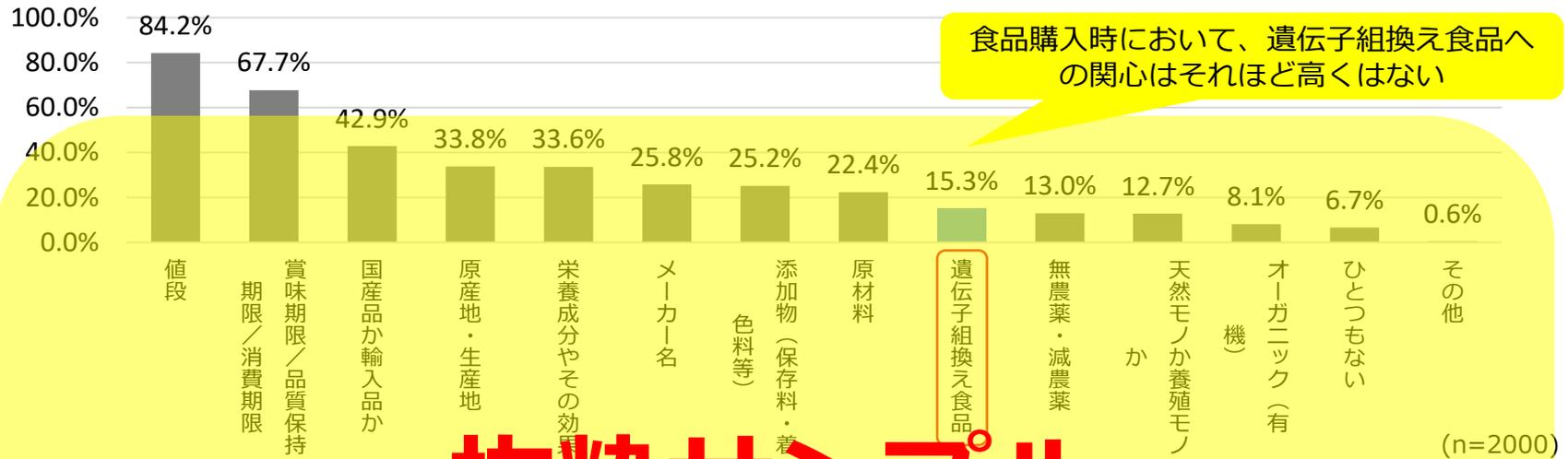
遺伝子組換え作物の形質別栽培面積 (1996-2019)



スタック品種: 異なる形質を有する遺伝子組換え品種を交配して育成された掛け合わせ品種

バイテク情報普及会による消費者意識調査 (1)

最近、食料品を購入する際に、関心のあることはなんですか (複数回答)



抜粋サンプル

また、そのうちで最も関心のあることを選んでください (ひとつ)

